

CiscoWorks Common Services 任意のコード実行脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-20101027-cs [CVE-2010-3036](#)
初公開日 : 2010-10-27 16:00
バージョン 1.3 : Final
CVSSスコア : [10.0](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Oracle 両方 Solaris および Microsoft ウィンドウのための CiscoWorks Common Services はリモート非認証攻撃者がシステム アドミニストレータの特権のホストデバイスの任意のコードを実行することを可能にする可能性がある脆弱性が含まれています。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。

この脆弱性を軽減する回避策がありません。この脆弱性の攻撃サーフェイスを制限する軽減は利用できません。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20101027-cs> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

CiscoWorks Common Services バージョン 3.0.5 および それ以降はこの脆弱性から影響を受けます。バージョン 4.0 および それ以降は修正が含まれています。

管理者は Home ページ CiscoWorks の右上隅にいる About ボタンをクリックして CiscoWorks Common Services についてのバージョン詳細およびライセンス情報をチェックできます。

インストールされる根本的な Common Services バージョンによるこの脆弱性からデフォルト Common Services を用いる以下の CiscoWorks プロダクトは影響を受けます:

Product	製品バージョン	Common Services バージョン
Cisco Unified Operations Manager	2.0.1	3.0.5
Cisco Unified Operations Manager	2.0.2	3.0.5
Cisco Unified Operations Manager	2.0.3	3.0.5
Cisco Unified Service Monitor	2.0.1	3.0.5
CiscoWorks QoS Policy Manager	4.0、4.0.1、および 4.0.2	3.0.5
CiscoWorks LAN Management Solution	2.6 アップデート	3.0.5
CiscoWorks LAN Management Solution	3.0	3.1
CiscoWorks LAN Management Solution	3.0 (December 2007 年のアップデート)	3.1.1
CiscoWorks LAN Management Solution	3.1	3.2
CiscoWorks LAN Management Solution	3.2	3.3.0
Cisco Security Manager	3.0.2	3.0.5
Cisco Security Manager	3.1 および 3.1.1	3.0.5
Cisco Security Manager	3.2	3.1
Cisco Security Manager	3.2.2	3.2.0
Cisco Security Manager	3.3	3.2.0
Cisco Security Manager	3.3.1	3.2.0
Cisco Security Manager	4.0	3.3.0
Cisco Security Manager	4.0.1	3.3.0
Cisco TelePresence Readiness Assessment Manager	1.0	3.0.5

注: CiscoWorksプロダクトは根本的な Common Services バージョンが脆弱なバージョンにアップグレードされた場合脆弱である可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

3.0.5 以前の CiscoWorks Common Services バージョンを使用する製品は脆弱ではないです。CiscoWorks Common Services バージョン 4.0 または それ 以降を使用する製品は脆弱ではないです。

インストールされる根本的な Common Services バージョンによるこの脆弱性からデフォルト Common Services を用いる以下の CiscoWorks プロダクトは影響を受けません:

Product	製品バージョン	Common Services バージョン
CiscoWorks IP コミュニケーション オペレーション 担当マネージャー	1.0	3.0 SP1
CiscoWorks IP コミュニケーション サービス モニタ	1.0	3.0 SP1
Cisco Unified Operations Manager	1.1	3.0.3
Cisco Unified Operations Manager	2.0	3.0.3
Cisco Unified Service Monitor	1.1	3.0.3
Cisco Unified Service Monitor	2.0	3.0.4
CiscoWorks LAN Management Solution	2.5、2.5.1、2.6	3.0.3
CiscoWorks LAN Management Solution	4.0	4.0
Cisco Security Manager	3.0	3.0.3
Cisco Security Manager	3.0.1	3.0.4

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.3	2010-December-01	追加された新しいパッチ情報。
リビジョン 1.2	2010-November-05	更新済脆弱性が存在する製品 表。
リビジョ	2010-October-	更新済取得修正済みソフトウェア (顧客との/外の顧客) セクション; 更新済

ン 1.1	29	ソフトウェアバージョン および 修正 セクション。
リビ ジヨ ン 1.0	2010- October- 27	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。